

令和3年2月22日

発 言 者	発 言 要 旨
菊池（大）委員	2月補正予算に増額計上している県立専門高校における産振設備の整備内容の詳細はどうか。
高校教育課長	<p>国の第三次補正予算では、高校におけるデジタル化推進の一環として、職業系の学校を設置している高校等への産振設備の整備に係る国庫補助金が予算措置された。これを活用し、本県では対象となる18校からの要望を踏まえ、86点の機器やシステムを導入したいと考えている。</p> <p>具体的には、コンピューター制御された工作機械、万能材料試験機といった実験装置、農業系として米の色を選別する装置、商業系として、商取引や会計処理などを実習できるようなシステム等がある。</p>
菊池（大）委員	ICT教育環境の整備状況はどうか。
義務教育課長	<p>小中学校について、1人1台端末は、県内の9市町村で整備済みである。校内ネットワーク環境整備等は、11市町村で整備済みであり、端末とネットワーク環境の両方が整備済みとなっているのは5市町村である。残りの市町村も年度内に整備を終える見込みという報告を受けているが、中には、メーカーによる品不足があることから、納品が4月末になるという話も聞いている。</p>
教育政策課長	県立高校の校務支援システム等の整備については、12月末に完了しており、2月中に運用試験を実施予定である。
菊池（大）委員	特別支援学校のトイレの洋式化や楯岡特別支援学校本校の通学路の整備状況はどうか。
施設整備主幹	<p>トイレの洋式化については、15箇所の整備を予定しており、整備率は78%程度となる見込みである。</p> <p>楯岡特別支援学校本校の通学路については、学校の北と南の市道が狭く、保護者からも改善の要望を受けている。道路そのものの改良は市道でもあるため容易ではないが、学校敷地内で行うことができないか、市の道路担当とも相談しながら技術的な検討を行っている。</p>
菊池（大）委員	新型コロナや今冬の豪雪の影響により、休校になっているところもあるが、各校のカリキュラムの進捗状況はどうか。
高校教育課長	<p>公立高等学校では、新型コロナの影響による年度末・年度始の臨時休業に伴う授業進度の遅れについては、夏季休業の短縮などにより遅くとも12月末までには授業の補充を行っている。</p> <p>また、豪雪による臨時休業等の影響については、遅くとも学年末の評価を出すまでに、補充を完了するよう各高等学校で予定している。</p>
義務教育課長	小中学校でも公立高等学校と同様に対応している。
菊池（大）委員	臨時休校時の各学校におけるタブレット活用状況はどうか。

発 言 者	発 言 要 旨
義務教育課長	<p>県内の各市町村では、概ね年度内に1人1台の端末の導入が完了する見込みであり、すでに導入済みの自治体では、家庭への端末の持ち帰りを始めているところもある。</p> <p>活用状況としては、教育委員会や学校で作成した算数・数学、英語の学習支援動画をユーチューブで配信し、児童に視聴させたという事例を聞いている。</p>
梅津委員	<p>県立専門学校の産振設備の整備に係る補正予算について学校の要望にすべて対応したものになっているのか。</p>
施設整備主幹	<p>国庫補助の要件や学校間のバランスに鑑み、全体的に調整を図っているが、可能な限り、学校の要望を反映させている。</p>
梅津委員	<p>I C T教育が進んでいくことは良いことだが、一方で児童生徒たちがインターネット犯罪に巻き込まれることが懸念される。最近、少年からのインターネット犯罪に関する相談はどの程度あるのか。</p>
参事官（兼）広報相談課長	<p>県警察で受理した少年が絡むインターネット犯罪の相談件数は、令和元年中は9件、2年中は15件である。</p>
梅津委員	<p>県警察では、平成29年11月に県警察本部長名で「インターネット利用に起因する児童の犯罪被害防止に関する取組みについて」との通達が出ているが、具体的にどのような取組みを行ってきたのか。</p>
人身安全少年課長	<p>県警察では、学校等と連携しながら情報モラル教育を行っており、令和2年中は児童・生徒対象の講話が96回、保護者対象の講話が9回、合わせて105回の講話を行っている。その他防犯教室などの啓発を326回行っており、計431回の情報モラル教育を実施している。</p> <p>今後もボランティアや教育機関と連携し、SNS利用の危険性やフィルタリングを含めたディフェンス力を高める重要性を児童・生徒や保護者に対して訴える啓発活動を推進していく。</p>
梅津委員	<p>通達には、「4 関係機関・団体、事業者等との連携の強化」と記載されているが、教育委員会、学校等関係機関・団体との具体的な連携状況や実績はどうか。</p>
人身安全少年課長	<p>教育委員会、学校等と共に学校警察連絡協議会を立ち上げ、情報共有を行いながら防犯教室や情報モラル教育を推進している。</p> <p>民間企業等との連携としては、プロバイダ事業者を中心とした「山形県インターネット防犯連絡協議会」や、インターネットカフェ事業者を中心とした「山形県インターネットカフェ事業者等連絡会」などと情報交換や情報提供を行いながら、フィルタリング等の利用促進を図っている。</p> <p>また、大学生サイバーパトローラー25人を委嘱し、大学との連携を図っているほか、少年警察ボランティアとして少年補導員530人、大学生ボランティア50人を委嘱し、一緒に啓発活動を行っている。特にフィルタリングに関しては、携帯電話販売店117店舗に対してフィルタリングの利用促進に関する要請を行っている。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
義務教育課長	<p>各教育事務所に警察OBである青少年指導担当を配置し、学校等の依頼を受け、児童生徒の情報モラルに関する講話などを行っている。</p> <p>また、PTAで研修会を開催し、親子でインターネット上の犯罪や違法有害情報について考える機会を設けている学校もある。</p>
梅津委員	<p>情報モラルの学習活動はカリキュラムとして設けられているのか。</p>
義務教育課長	<p>当該学習活動はカリキュラムに入れて計画的に実施することになっている。</p>
梅津委員	<p>早急に教職員のICT活用能力を高めるべきだが、その対応はどうか。</p>
義務教育課長	<p>今年度から8小中学校をICT教育推進拠点校とし、効果的な活用に向けた実証研修に取り組んでいる。その成果を周知し、教員のスキルアップにつなげてまいりたい。また、文部科学省の資料をまとめてリーフレットにして教員に配布し、普及を図っていく。</p>
矢吹委員	<p>学校のICT機器の仕様やソフトについては、教員の異動があること等を踏まえ、県内での統一に対する考えをこれまでも質疑してきたが、実際の導入状況はどうか。また、電子黒板の導入についてはどうか。</p>
義務教育課長	<p>端末の種類は、WindowsのOSが非常に多くを占めており、各学校において、アップグレードすることなく基本的な仕様で授業を行うことを検討している。</p> <p>ソフトについては、様々なものがあり、各学校や市町村教育委員会等が取り組みたい学習内容に応じたものを取り入れるべく検討している。</p> <p>また、大型提示装置の導入については各市町村教育委員会のそれぞれの状況に応じて、電子黒板、プロジェクターなど適切なものを検討している状況である。</p>
矢吹委員	<p>スクール・サポート・スタッフの配置の状況と今後の見通しはどうか。</p>
教職員課長	<p>スクール・サポート・スタッフについては、年度当初、働き方改革を目的として、昨年度から5人増の41人を配置していたが、年度途中には、国の新型コロナの緊急対策事業を活用して増員し、令和3年1月末現在で253人配置している。</p> <p>来年度については、国の補助事業を活用しながら、働き方改革と新型コロナ対応の両方を目的とし、小中学校及び特別支援学校に96人の配置を計画している。</p>
菊池（文）委員	<p>GIGAスクール構想に対応したタブレット導入に係る県全体のインシヤルコストはどうか。</p>
義務教育課長	<p>概算で約36億円である。</p>
菊池（文）委員	<p>令和2年9月補正予算において、遊佐交番倉庫のアスベスト除去を含む解体工事を目的として交番・駐在所整備事業費を計上していたが、解体工事の進捗状況はどうか。また、アスベストは含有していたのか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
参事（兼）会計課長	<p>遊佐交番倉庫等の解体工事の進捗状況については、昨年11月18日に契約を締結し、完成期限である2月26日に向け工事はほぼ終了し、完成検査を待つ状態となっている。</p> <p>また、当該倉庫についてはアスベストを含有していることが判明し、通常工事に比べ約8倍程度の経費がかかる見込みである。</p>
菊池（文）委員	<p>今春卒業予定の高校生の就職活動の状況、コロナ禍の影響はどうか。</p>
高校教育課長	<p>12月末現在に山形労働局で発表した就職内定率は、92.7%である。前年度同期比で2.2ポイント低下しているものの、コロナ禍にあってもこれまで各学校間、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を密に進めた成果と捉えている。</p>
田澤委員	<p>今年度の高校生等奨学給付金の追加給付に要する補正予算の経過はどうか。</p>
高校教育課長	<p>令和2年4月補正予算にて家計急変世帯分を増額補正し、さらに6月補正予算では、低所得者世帯の家庭学習を支えるための通信費用について増額補正している。このたびの2月補正予算は、給付金交付実績見込みに基づいた減額補正分と国の第三次補正予算を踏まえた上乗せ給付分の増額補正分を算出した結果、減額補正を行うものである。</p>
田澤委員	<p>新聞を活用した教育活動に係る市町村への支援事業の実施状況はどうか。</p>
教育政策課長	<p>今年度の補助事業では、小学校は152校、402学級、中学校は70校、560学級について支援している。</p>
田澤委員	<p>ICTに関する能力を高めるため、パソコン等の使い方を指導する機会も必要と考えるがそのような授業や研修はあるのか。</p>
高校教育課長	<p>高等学校では必履修科目として「情報」があり、情報に関する法規、制度、情報モラル及び情報セキュリティ等について学んでいる。</p>
梶原副委員長	<p>職員の逮捕事案について教育長から説明があり、昨年7月24日の犯行について令和3年2月15日に逮捕されたというのが通常の捜査期間はこの程度の期間か。</p>
参事官（兼）刑事企画課長	<p>通常捜査は、一般的に防犯カメラや関係者からの聞き込み、被害場所と被疑者の結びつきに関する捜査などを行っている。</p> <p>当該事件は、被害関係者からの届出が被害のあった7月24日から数日後であり、被害現場が小国町内、被疑者の住居が山形市であったことから、その結びつきなど所要の捜査を遂げて2月15日に通常逮捕したものである。</p> <p>なお、本件は、逮捕の翌日には釈放し、任意で捜査を継続中の事件である。</p>
梶原副委員長	<p>当該事件の被疑者は、昨年7月24日から2月15日まで通常業務を行っ</p>

発 言 者	発 言 要 旨
教職員課管理主幹	<p>ていたのか。また、教育庁で当該事件について把握したのはいつか。</p> <p>当該期間は、通常業務を行っていた。また、教育庁では当該事件について2月15日に把握した。</p>
梶原副委員長	<p>小中高等学校のトイレの洋式化の状況はどうか。また、将来的にはトイレを全て洋式化するという方針か。</p>
教育政策課施設整備主幹	<p>令和2年9月1日現在で小中学校の整備状況は54.6%、県立高校の整備状況は37.2%である。</p> <p>各校のトイレ整備については、学校設置者によっては子どもが和式にも順応できるよう和式も残したいという考えもあるが、基本的に洋式トイレが中心で今後も和式から洋式に切り換えが進んでいくものと考えている。</p>
梶原副委員長	<p>新型コロナの影響により小中高生者のストレスが増大しているという新聞報道があるが、県内の状況はどうか。</p>
義務教育課長	<p>今年度は、コロナ禍における児童生徒の心のケア等に関する実態調査を3回実施している。</p> <p>9月1日から1月15日までの調査結果では、小学校ではいじめに関する相談が一番多く、次にいじめを除く友人関係に関すること、三つ目に学校生活に関することが多くなっている。中学校では学習に関すること、学校生活に関すること、いじめを除く友人関係に関することの順に多かった。</p> <p>このため、県教育委員会では、2月18日付けで市町村教育委員会に対し、児童生徒の心の安定に向けた教育相談体制の充実について通知を発出し、未然防止と早期発見に繋がる指導やチェックリストなどについて各学校に情報を提供するとともに、特に心配な児童に対する年度末等の個別の対応や支援を組織的に継続するよう依頼している。</p>